

せい 聖籠町 議会だより

聖籠町議会
議会だより

VOL.153
12月議会
令和8年
1月30日発行
新潟県聖籠町議会

今年も良い年でありますように
(次第浜 日枝神社)

新年のあいさつ

町から回答が来ました

(P.2)

蓮潟環境保全チーム役員の声

(P.6)

一般質問 町政を問う

(P.10)

マチイロ

無料アプリで議会だよりが手軽
に閲覧できるようになりました。



Android



iOS



マチイロ



Android



iOS

12月定例会は10日から16日までの会期で開催しました。議案では、町企業版ふるさと納税基金条例の制定をはじめ他2件、聖籠町税条例の一部改正ほか1件。固定資産審査評価委員の選任・人権擁護委員の推薦。ざぶ～ん館とトレーニングルームの管理者の指定。一般会計他4件の補正予算が上程され、提出された案件は全て可決されました。

12月議会 定例会

町乳児等通園支援 事業の基準を定める条例

議員 市町村の認可事業等の一部と児童福祉法の一部が改正され、保育所等に通っていない、0歳6ヶ月から満3歳未満を対象とした、子どもの通園支援事業が創設され、市町村の認可事業となり新たに条例制定するものです。

主な質疑

議員 市町村の認可事業等の一部と児童福祉法の一部が改正され、保育所等に通っていない、0歳6ヶ月から満3歳未満を対象とした、子どもの通園支援事業が創設され、市町村の認可事業となり新たに条例制定するものです。

議員 この事業は、国によって定められた事業だと思うが、2025年度自治体で県内、先行実施している市町村はどれだけあるのか。議員は把握していない。

議員 県内では6市が実施して、早い市では5月から実施している。そのためにはと思う。

議員 町長の立場としては遅いのではと思う。

議員 町長が、なぜ遅れたのか。子育ての町をうたっている町として、率先して取り組んでほしいと思うが、なぜ遅れたのか。

議員 町長は、来年4月からになります。

議員 この事業は、国によって定められた事業だと思うが、2025年度自治体で県内、先行実施している市町村はどれだけあるのか。議員は把握していない。

議員 県内では6市が実施して、早い市では5月から実施している。そのためにはと思う。

議員 町長の立場としては遅いのではと思う。

議員 町長が、なぜ遅れたのか。子育ての町をうたっている町として、率先して取り組んでほしいと思うが、なぜ遅れたのか。

議員 町長は、来年4月からになります。



議員 この事業は、国によって定められた事業だと思うが、2025年度自治体で県内、先行実施している市町村はどれだけあるのか。議員は把握していない。

議員 県内では6市が実施して、早い市では5月から実施している。そのためにはと思う。

議員 町長の立場としては遅いのではと思う。

議員 町長が、なぜ遅れたのか。子育ての町をうたっている町として、率先して取り組んでほしいと思うが、なぜ遅れたのか。

議員 町長は、来年4月からになります。

謹んで新春のお祝いを申し上げます。町民の皆さんにおかれましては、田頃から、議会に対する理解と協力をいただき、感謝申し上げます。

今年は午(うま)年です。馬は群れで行動する動物でもあるので、つまには「人と人の絆と協調」を大切にすることの意味合いであります。議会は行政をチェックする」とが大きな仕事ですが、議会と行政は車の両輪だとよく言われます。両輪ですので、どちらかがいびつになると正常な運転ができなくなります。「安心で安全な町づくり」のために健全な議論を重ねていく年にしたいと思ふ。そして、議会全体で冷静に建設的な議論をするのことを目指したいと願っています。

昨年はすっと言われて続いている地球温暖化現象を、改めて実感した年でした。日本は四季の良さを楽しむ国だと思っていましたが、日々における寒暖差や局地的な豪雨等、予測のつかない自然災害が起こりうる国になつたようです。この時だからこそ、人と人が支え合の町にしていきたいと思います。

結びに、町民の皆さまの「健康」「多幸」を心よりお祈り申し上げ新年のごあいさつと致します。



新春を迎えて

議会議長
みやざわ 宮沢 光子



議員表決結果報告

令和7年12月定例会

議員個々の賛否：賛成＝○ 反対＝× 欠席＝欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

令和7年12月定例会提出議案 15件（条例5件、予算5件、その他5件）

補正予算

聖籠中学校の空調設備 機能低下で 夏場24時間稼働

空調設備の 抜本的な 見直しをせよ!



中学校の光熱水費 770万円

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	歳入	介護給付費等負担金	884万円
		新潟県農林水産業総合振興事業補助金	390万円
		ふるさと応援寄付金	9000万円
		繰越金	1億1945万円
		ふるさと納税支援業務委託料	3558万円
		介護給付費等扶助費	3537万円
	歳出	備品購入費	-5034万円
		光熱水費（中学校費）	770万円

議員 中学校費の中では、光熱水費が770万7000円と、町内の小学校と比べても、かなり大きな金額になつてゐる。なぜこれほど差が出ているのかその理由については、**子ども教育課長** 最も大きな要因は、聖籠中学校において、夏場の猛暑対策としてエアコンを24時間連続で稼働させている点にある。

主な質疑



団員の活躍で安心な暮らし



適切な管理で景観の維持を



健診受診で安心な暮らし(健康開発センター)

かつての防火井戸で使
用されないものもある。
機能していない井戸は、
安全のためにも点検を確
認し順次撤去すべきだ。

回答 現在、消防団各班
においては、定期的に井
戸を含めた水利の点検を行
っている。

その中で、機能してい
ない井戸や安全が確保で
きない井戸があつた場合
は、予算の範囲内で速や
かに撤去を行つていき
いと考えている。

回答 消防団員加入に向けた
員報酬の見直しや、家族
の理解を得るためにも団
員の重要性を広く周知さ
れたい。

回答 消防団員の報酬は、
消防庁が定める非常勤消
防団員の報酬等の基準に
基づき見直しを行つてお
り、令和5年度から見直
した報酬額を支給してい
る。今後もこの報酬等の
基準の見直しに合わせて
支給する。

また、家族の理解・協
力が不可欠と考えており、
消防団活動の重要性につ
いては広報等で周知に努
める。

回答 償還払い制度による町
民サービスが多くあるが、
予算額と決算額の乖離が
大きい。町民への広報が
要因は何だったのか、また、
足りなかったのかを検
証し、多くの町民生活安
定につなげられたい。

回答 予算計上にあたつ
ては、実績や今後の見込
みを考慮したうえで、不
足が生じないよう算定し、
不用額の多い償還払い制
度のサービスについては、
その要因について調査し、
より多くの町民への安定
した生活支援につなげら
れるよう検討する。

防火井戸点検

消防団充実を

償還払い制度

庭園管理

ドック受診啓発を

令和6年度決算特別委員会における 意見書に対する町からの回答

令和6年度決算認定の特別委員会での意見書に対して、町から11月20日付で回答があ
りましたので、その一部をお知らせします。

私立認定「いじも園」のうち、一園の経営者が変わったがそれでも支援金を支払うのか。支払うなら根拠を明確にされたい。

回答 この支援金は、令和4年度開園の認定ごども園の建設費用が、ウッドショックなどに加え建設段階よりも大幅に高額になつた。その後の物価高騰の状況下においても保護者に負担を求めることが、当分の財政支援を行つた。そのうちの一つの法人の理事長が変わったが、法人事業を存続しており、保護者負担の軽減目から支援は継続する。



売却も検討すべき資料展示館



数年来客足が激減の海水浴場



交通事故の予防にも常に適切な管理を

いじも園支援

資料展示館再考を

網代浜海水浴場

道路樹木管理

「歴史資料展示館」に
「しえ」は、年間を通じて
利用客が見込めない。注
意されづらい立地である
が故、町民からも忘れ去
られている施設と感じる。

この施設の有効な活用を
見いだせないのであれば、
売却等も含めて検討され
たい。

回答 この施設は平成20
年に開館し、町史編さん
で判明した資料や、宗龍
寺の棟板等を展示して地
元集落の各団体から利用
されてきた。しかし、コ
ロナ感染症以降利用が少
なくなり、活用するにも
見たいと考へて検討して
いる。

回答 方検討委員会」を立ち上
げ、町民アンケートを実
施するとともに海水浴場
の存廃を含めて委員会に
おいて議論をし、今後の
在り方について意見をも
らう予定だ。町は、その
意見を踏まえて海水浴場
の開設について検討した
いと考えている。

回答 緑代浜海水浴場の開設
には、毎年1500万円
ほどの経費がかかる。経
費を精査し経費削減に努
められたい。

回答 議会からの指摘も
踏まえ「海水浴場の在り
方検討委員会」を立ち上
げ、町民アンケートを実
施するとともに海水浴場
の存廃を含めて委員会に
おいて議論をし、今後の
在り方について意見をも
らう予定だ。町は、その
意見を踏まえて海水浴場
の開設について検討した
いと考えている。

回答 道路沿いに植栽され
た樹木等は、剪定や伐
採数が少ないため見通
しが悪く危険な箇所もみ
られる。交通安全および
環境美化を図るために草刈
り・剪定の回数を増やす
べきだ。

回答 草刈り回数や剪定
回数について、経費削
減等も踏まえ必要最低限
の回数に抑えてきたところだ。近年の天候等も考
慮し適正な回数になるよ
う努める。

第4回目となる今回の意見交換会は、前回に引き続き各種団体の皆さまと専門的な意見を深め意見交換を行う趣旨のもと、11月11日、「商工会青年部と意見交換会」を開催しました。2つの議題について3グループに分かれ意見交換を行いました。



町民との意見交換会



な意見がありましたので
主な意見を紹介します。

議会の議員定数・報酬に対する意見

●議員の活動内容を町民にわかりやすく伝えてもらいたい。
●思っていたより報酬が少ないと感じた。
●議員定数を減らすのなら報酬を上げてもよいのではないか。

●イベントの活性化には子どもたちを巻き込むことが重要。
●子どもたちの声を聞くことができる。
●観桜会ではステージを利用し活性化が必要。
●スワンボートの導入、シャトルバス運行等活性化が必要。

町イベントの活性化に対する意見

意見交換会は、前回に引き続き各種団体の皆さまと専門的な意見を深め意見交換を行う趣旨のもと、11月11日、「商工会青年部と意見交換会」を開催しました。2つの議題について3グループに分かれ意見交換を行いました。



人権擁護委員 渡邊富子さん

人権擁護委員の渡邊富子さんが令和8年3月31日をもって任期満了することにかかり、再度渡邊さんを委員に推薦するため意見を求められ、全員賛成で適任と答申しました。渡邊さんは令和5年4月から委員として活躍されており、今後もその手腕を発揮されることを期待します。



固定資産評価審査委員会委員 羽賀拓也さん

固定資産評価審査委員会委員の羽賀拓也さんが令和7年12月31日をもって任期満了になります。引き続き羽賀さんを委員に任命することについて同意を求められ、全員賛成で同意しました。羽賀さんは令和5年1月から委員として活躍されおり、これからも適正かつ公平な審査を期待します。

質問項目

Q1 「蓮潟環境保全チーム」の活動から思うことは?
Q2 町に期待することは?

Vol.26

お届けします!
笑顔で集う
町民の声



蓮潟環境保全チーム役員の声

私たちのチームは、農業者と集落が一体となって農業の振興と集落環境整備の推進を図っています。

そね あきゆき
曾根 昭幸さん
(代表)



1 自治会などと協力して草刈り植栽等を行い、地域の環境整備ができたと思います。
2 聖籠町の長所を内外にアピールしてほしい。今後も多面的機能にご支援ご協力をお願いいたします。

いとう ひさお
伊藤 久雄さん
(会計担当)

1 半信半疑で始めた「蓮潟環境保全チーム」の活動。20年ほど経過し、今や全世帯が参加する重要な取り組みです。
2 農業振興、集落環境を向上・維持する大切な活動です。今後とも後方支援をお願いします。

いからし じゅんこ
五十嵐 順子さん



1 会員皆仲良しく協力的で何事に対しても一生懸命で地域ぐるみで「安心安全な環境づくり」をモットーとして取り組んでいます(カッコいい環境保全チームです)。
2 聖籠町は人にやさしく住みよい所として高く評価されることに対して誇りに思っています。しかし、もう少し高齢者にも豊かになるような手を差し伸べてほしいと思います。

さくま まりこ
佐久間 真利子さん



1 老人クラブや育成会が行う活動もあり、世代間の交流の場になっています。
2 花植え活動の継続、ごみのポイ捨てがない町、よろしくお願いします。

【紹介議員】伊藤 千穂・宮沢 さやか
【請願の趣旨】
①国は、未救済被害者が、水俣病であることを求めて裁判を起こしたり、公害健康被害補償法について認定申請するなど、新潟水俣病は終わっています。その最大要因は、救済制度を見直さないことや水俣病特措法に基づく被害者発生地域の住民健康調査が確実に行われていないことなどによります。

要望事項

①国は、未救済被害者の救済に向けて新たな救済制度を確立すること。
②平成22年4月の特措法に関する閣議決定および平成23年3月のノーモア・ミナマタ新潟訴訟の和解条項を踏まえて、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議すること。

↓採択を受け、国に意見書を提出。

【提出者】新潟市中央区新光町6-2
新潟水俣病共闘会議議長代行
中村 周而

全員賛成で採決
○新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向かう取組に関する請願書

みんなの「声」 請願1件を調査

松の維持管理は適正か

教育長 薬剤の樹幹注入を行う

管理



さいとう ゆたか
斎藤 豊 議員の視点

問 道賀新田地区の旧竹内家の松の維持管理は適正か
教育長 薬剤の樹幹注入を行う
問 道賀新田地区の旧竹内家の松の維持管理は適正か
教育長 薬剤の樹幹注入を行う

問 道賀新田地区の旧竹内家の松の維持管理は適正か
教育長 薬剤の樹幹注入を行う
問 道賀新田地区の旧竹内家の松の維持管理は適正か
教育長 薬剤の樹幹注入を行う



難聴者支援施策の充実を 町長 共生社会推進に向け検討する

共生



はせがわ しんいち
長谷川進一 議員の視点

問 本町は手話を必要とする「ろう者」と、ろう者以外の者が共に生きる地域社会実現のため、手話言語条例を県内では一番早く制定した。平成29年9月23日を手話言語の国際デーと決議した。その日に合わせて各市町村で手話言語事業」を実施している。本町はいまだに実施していない。次年度からは役場施設選定や事前周知の手法などを検討したいと考

え。



共に学び共に生きる社会を
つくる

一般質問 町政を問う



12月定例会では9人の議員が、町長および教育長に町の行政について質問しました。

斎藤 豊 議員 P10
・聖籠福社会
はすがた園の今後
見えない西脇カラー
文化会館の時計
修繕はいつだ

長谷川 進一 議員 P11
・松の維持管理は適正か
道賀新田
旧竹内家の利活用は
不登校・
不登校傾向者の対応は

中村 恵美子 議員 P12
・暮らし応援事業の
暮らし応援事業の
継続を
・役場内の連携を密に
・ゴルフ場跡地の
適正課税

長谷川 進一 議員 P11
・難聴者支援施策の
充実を
・教育大綱次年度は

栗原 博久 議員 P14
・老人への手厚い施策を
・じつなった
バイオマス発電所

田中 智之 議員 P14
・老朽した公共施設は
今後どうの
・消防団は
・消防団は
・消防団は

手嶋 満 議員 P13
・老朽した公共施設は
・消防団は
・消防団は

青木 順 議員 P13
・町のDX施策の
優先度は
・幼児教育保育体制と
町職員配置

聖籠福社会はすがた園の今後

施設



はせがわ むつお
長谷川六男 議員の視点

問 町長は、現在の聖籠福社会の経営状況をどのように認識しているか。
町長 令和7年6月に就任された新理事長から現在の経営状況や課題、そして今後の改善に向けた経営方針について伺つて
いる。新理事長の下で経営改善に努められ、安定した経営となることを望んでいる。

問 「行財政改革道半ば、任期満了まで1年」と大きな見出しが、新潟日報に掲載されていた。子育て支援に力を入れる中で、いま一つ西脇カラーが見えていないとの記事が載っていた。町民が指摘している

見えない西脇カラー



いすれ世話になるだろう町の特別養護老人ホーム

問 昨年の12月定例会で質問した文化会館の時計の修理について、予算が伴うべきと考えと捉えた。現在修理について、予算が伴うべきと考えているか。
教育長 次年度の当初予算要望に、文化会館の時計の修理について計上してもらっている。
町長 報道機関が独自の手法で情報を入手し、独自の視点で記事として公表している内容について、論評することは控えたい。

発電所

福祉

見て 聞いて
話し合った
委員会レポート

広報広聴常任委員会 県内町村が共に学び合う広報研修会

【期 日】10月29日
【研 修 先】新潟県自治会館
【研修事項】
・議会広報の編集経過と課題について

午前中の事例発表は、田上町議会広報常任委員会、出雲崎町議会報特別委員会、津南町議会広報特別委員会の順番での発表でした。

午後から広報アドバイザーの金井講師から聖籠町の議会だより151号を広報クリニックを行う予定でしたが、都合により書面による提出となりました。

その後、各町村の委員6人ずつでのグループ

に分かれて意見交換を行いました。各自が日頃の広報活動で感じていることや工夫している点などを共有し、他の委員の視点や取り組みを知ることができ、改善のヒントを得ることができました。

また、各委員から聖籠町の広報紙について高評価をいただき、有意義な研修会でした。

(文責 須貝 龍夫)



総務文教常任委員会 笑顔あふれる施設整備のために！

【期 日】11月17日
【視 察 先】五泉市交流拠点複合施設
「ラポルテ五泉」
【視察事項】
・屋内遊び場施設整備に向けた
先進地の視察

ラポルテ五泉の屋内遊び場は複合施設内に設置されており、幅広い年代が多様な利用をすることのできる施設になっており、遊び場のみの利用にとどまらない相乗効果を生んでいました。

指定管理者が施設全体を管理運営しており、年間を通して多くのイベントを実施していることも集客につながっていて、指定管理者の

営業力・イベント力のたまものであると感じました。

今後、当町でも屋内遊び場の施設整備が見込まれていますが、幅広い年代が笑顔で集えるよき施設になることを切に願います。

(文責 伊藤 千穂)

どうなった バイオマス発電所
規模縮小になる 今後は不透明

町 長

【問】新潟サンライズゴルフ場跡地にバイオマス発電所建設計画が発表され、既に5年。出力30万kWという世界最大級の発電力を予定し、2026年度に運転開始の計画だったが、いまだ運転開始はおろか着工の気配すらない。なぜ進まないのか。

【答】燃料確保や価格の先行きが不透明なことから規模を縮小変更する予定だと、イーレックス(株)から情報提供があった。変更後の詳細な計画は検討中とのことで具体的な話はもらえなかつたが、撤退は考えていないと確認した。



見込んでいた年間10億円の財源がご破算に
町政運営どうする町長

【問】新潟サンライズゴルフ場跡地にバイオマス発電所建設計画が発表され、既に5年。出力30万kWという世界最大級の発電力を予定し、2026年度に運転開始の計画だったが、いまだ運転開始はおろか着工の気配すらない。なぜ進まないのか。

【答】燃料確保や価格の先行きが不透明なことから規模を縮小変更する予定だと、イーレックス(株)から情報提供があった。変更後の詳細な計画は検討中とのことで具体的な話はもらえなかつたが、撤退は考えていないと確認した。

【問】新潟サンライズゴルフ場跡地にバイオマス発電所建設計画が発表され、既に5年。出力30万kWという世界最大級の発電力を予定し、2026年度に運転開始の計画だったが、いまだ運転開始はおろか着工の気配すらない。なぜ進まないのか。

【答】燃料確保や価格の先行きが不透明なことから規模を縮小変更する予定だと、イーレックス(株)から情報提供があった。変更後の詳細な計画は検討中とのことで具体的な話はもらえなかつたが、撤退は考えていないと確認した。

【問】新潟サンライズゴルフ場跡地にバイオマス発電所建設計画が発表され、既に5年。出力30万kWという世界最大級の発電力を予定し、2026年度に運転開始の計画だったが、いまだ運転開始はおろか着工の気配すらない。なぜ進まないのか。

【答】燃料確保や価格の先行きが不透明なことから規模を縮小変更する予定だと、イーレックス(株)から情報提供があった。変更後の詳細な計画は検討中とのことで具体的な話はもらえなかつたが、撤退は考えていないと確認した。



田中智之議員の視点

老人への手厚い施策を

町 長

【問】国と協力して期待に応えたい

【答】保育法人へはそれなりの支援がなされているが、介護法人へは希薄だ。町独自の支援はできない。

【問】保育法人へはそれなりの支援がなされているが、介護法人へは希薄だ。町独自の支援はできない。

【答】保育法人へはそれなりの支援がなされているが、介護法人へは希薄だ。町独自の支援はできない。



安心する老後



栗原博久議員の視点

クールカウンセラーなど
で対処し、他校とのオンライン授業などでも教育
内容の充実を考えている。

ようこそ聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～



まつなが
松永 哲さん
(別條)

「ようこそ聖籠へ！」では、他市町村出身で、現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューします。



感謝を忘れずに

Q 町の良いところ（好き
なところ）を教えてく
ださい。

自然豊かで、人も優し
く子育てがしやすい環境
が大好きです。

Q 出身地と聖籠町在住年
数は？

聖籠町在住年数は約10
年になります！

Q 家族構成を教えてくだ
さい。

私たち夫婦と子どもが
3人。長男、次男、三男
の5人家族です！

Q どんな町になってほし
いですか。

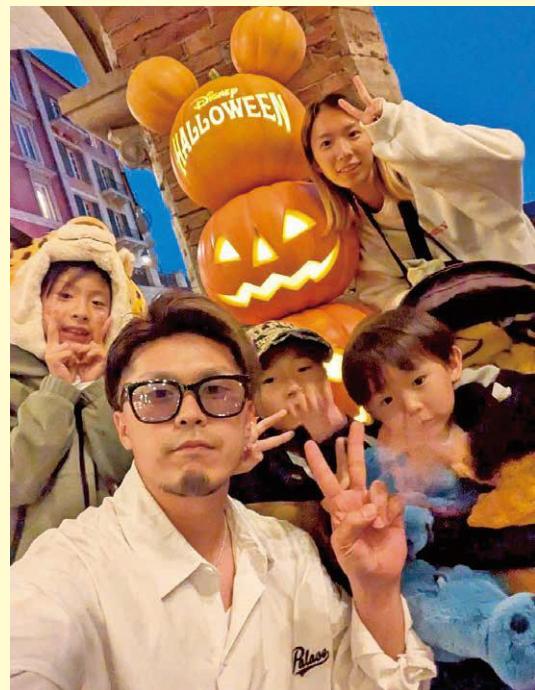
今回、別條集落の松
永さんご家族です。

Q どんな子どもに育つて
ほしいですか？

これ以上、あまり求め
る事がないくらい十分な
町です。

Q ご家族の夢を教えてく
ださい。

家族皆、健康第一で笑
顔が絶えない家族で十分
です！



お知らせ ～information～

議会トップページは
こちらから



次回の定例会は、3月4日(水)開催予定です。

本会議を
聴くことが
できます

①FM 放送

エフエムしばた 76.9MHz



②インターネットサイマルラジオ

右の2次元コードから

聴くことができます。



★表紙の写真★

「今年も良い年でありますように」
(次第浜 日枝神社)

氏子役員は、12月31日から1
月1日10時まで宮守をして、新
年を迎えてます。(1月1日)

発行責任者

議長 宮沢 光子

広報広聴常任委員会

委員長 須貝 龍夫

副委員長 斎藤 豊

委員 手嶋 満

伊藤 千穂

長谷川 進一

川上 りな

広報広聴常任委員会
委員
伊藤
千穂

新しい年を迎え、次の改選まで折
り返しとなりました。改めて気を引
き締めて研さんに努めさせていたいと
思います。

12月定例会の議会では、新たに2
つの特別委員会を設置しました。
1つは「議会基本条例に係る特別
委員会」です。議会基本条例は、議
会の基本的な在り方を定めたもので、
より良い議会運営のために委員会で
見直しをするものです。

もう1つの特別委員会は「議員定
数議員報酬に係る特別委員会」です。
前回検討した際は、議員定数・報酬
共に現状維持のままでした。あれか
ら4年がたち社会情勢が変化するな
かで、現状のまま良いかどうかを
協議するものです。

議会活動全体を見直す機会にもつ
ながる両委員会です。どのような内
容であったかは、今後発行される議
会だより内でお伝えする予定です。
これからも議会だよりを注視して
いただけたら幸いです。

編集後記